

令和7年度 教職大学院

【授業及び授業構想に関する筆記試験】(90分)

(解答は別に配る用紙に書いてください。)

教職大学院 Ⅱ期入試
(特別選抜Ⅰ、特別選抜Ⅱ、教職経験10年以上)

【問題】

「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(概要)」(文部科学省・国立教育政策研究所)では、主体的・対話的で深い学びに取り組んだ児童生徒は、社会経済的背景が低い状況にあっても、各教科の正答率が高いことが指摘されている(注1、2)。これに関して次の各問いに答えなさい。

(注1) 社会経済的背景(SES) …子どもたちの間にある経済的格差や不平等の度合いを示す指標。金銭的・経済的な資源とともに、文化的・社会的な資源も含む。

(注2) 「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(概要)」P31では、「家庭の社会経済的背景(SES)が低いグループほど、各教科の正答率が低い傾向がみられる中でも、『主体的・対話的で深い学び』に取り組んだ児童生徒は、SESが低い状況にあっても、各教科の正答率が高い傾向がみられる。」と報告されている。

問1

主体的・対話的で深い学びに取り組んだ児童生徒が、社会経済的背景が低い状況にあっても各教科の正答率が高い傾向にあるという指摘について、あなたの考えを書きなさい。(解答は罫線の解答用紙に書くこと。文字数の制限はないが、解答用紙の^{おまして}表面に収めること。)

問2

主体的・対話的で深い学びを実現する授業としてどのような授業を行うことが考えられるか、校種及び教科と学年、単元を決めて、その中の1時間の学習指導案を解答用紙(1)の形式にしたがって作成しなさい。また、作成した指導案のポイントについて解答用紙(2)に記しなさい。